

首都 ブラジリア

モデルニズモ都市の誕生

近代とは何か、理想の都市とは何か、元佐賀大学理工学部都市工学科教授 中岡義介氏らをお迎えし、長年の研究成果（近著：「首都ブラジリア」鹿島出版会、2014）を踏まえ、近代の世界遺産＝首都ブラジリアの意味、さらには定説をくつがえす新しい視点から解説をいただく。

都市づくりや地域づくりの重要性がいわれて久しいが、都市づくりの原初的かつ生活空間に立脚した考察、「快適な暮らし」を実現したブラジリアの経験に学ぶことは、地方都市地域においてまちづくりに関わるもの、また、未来の都市づくりを志す若い方々にとって有意義なものとなる。

日時 2015年 10月 21日（水）
17：00～19：00

会場 佐賀大学理工学部6号館 1F 都市工学科大講義室
（佐賀県佐賀市本庄町1番地）

入場無料（資料として書籍販売） CPD 認定プログラム（建築士会：2.0 単位）

主催 （一社）日本建築学会九州支部佐賀支所

共催 佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻、低平地研究会都市空間部会

後援 （一社）佐賀県建築士会、（公社）日本都市計画学会九州支部

講師

中岡 義介 氏

元日本学術振興会サンパウロ研究連絡センター長
元佐賀大学理工学部都市工学科 教授

川西 尋子 氏

元サンパウロ人文科学研究所特別研究員
都市文化学・教育学研究者

問い合わせ先 後藤隆太郎（佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻）
rgoto@cc.saga-u.ac.jp